

Ⅲ 〔法学部〕履修登録時の注意事項

≫1年間の履修制限単位「48単位」を超えて登録できません。

学修ガイドブックで、卒業要件を十分に確認した上で、余裕のある履修登録を行って下さい。

≫クラス指定の科目について

クラス指定をされている科目の時間割が他の必修科目と重複する場合は、教務課に申し出て下さい。

≫履修条件について

学修ガイドブックの「履修登録手続き」およびWEBシラバスの「履修上の注意」を熟読し、履修条件の確認を必ず行ってください。

・英語関係の科目については、プレイスメントテストの受験など事前の手続きが必要な場合がありますので、必ず必要な手続きを経た上で、WEB履修登録を行って下さい。

・各個人において、履修登録ができない科目（配当年次が違う、履修条件を満たしていない等）は画面に表示されません。

・履修登録数が上限に達した科目は登録できません。（対象科目：下記注意事項を参照のこと）

Ⅲ 〔法学部〕履修科目の注意事項

科 目	注 意 事 項
基礎教育科目 英語コア（英語） 基礎情報処理	原則、指定されたクラスで履修登録すること。（学修ガイドブック参照） * 指定されたクラスが、他の選択必修科目などと重複する場合は必ず教務課に申し出ること。 * 語学は、WEB履修上での先着順の登録となります。また、英語コアを受講する場合、新1年生は必ず英語プレイスメント・テストを受験の上、指定された級のクラスを受講すること。
英語オプションA～H（導入） （発展）	希望するものは、必ずWEB履修上で登録を行うこと。先着順となります。 （詳細は外国語科目の講義概要で確認）
英語スピークン・インタラクシ ョン-1～4	新1年生は、英語プレイスメント・テストを受験すること。

科 目	注 意 事 項
応用判断推理（公務員試験対策） 応用数的推理（公務員試験対策）	判断推理、数的推理でそれぞれ単位を修得した者のみ履修可とする。
基礎教育科目の各科目のⅠ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱは、両方共に履修を原則とするが、ⅠまたはⅡの片方のみ履修可。但し、Ⅱは、Ⅰの履修条件が付いている場合、Ⅱのみの履修はできない。
専門教育科目	A・BもしくはⅠ・Ⅱは、履修条件が付いている場合、BまたはⅡのみの履修はできない。
環境法 A・B	環境法 A・B は同時履修となっておりますので、必ず両科目を登録して下さい。
リスニングⅠ・Ⅱ、ライティングⅠ・Ⅱ コミュニケーションⅠ・Ⅱ、インターネット と英語Ⅰ・Ⅱ、プレゼンテーション、 ディベート	法律学科 法律英語コース、国際政治学科 国際英語コースの者しか履修できない。
情報発信実践演習A・B、社会 調査Ⅰ・Ⅱ、プログラミングⅠ・Ⅱ、 情報と社会、情報化と職業、プロ gramming 応用Ⅰ・Ⅱ、応用情報科 学Ⅰ・Ⅱ、電子商取引と情報経 済	法律学科 法律情報科学コース、国際政治学科 国際情報科学情報科学コースの者しか履修できない。
スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ、スポーツ 科学実習、健康科学実習、健康 教育実習、スポーツレクリエー ション	新型コロナウイルス感染対策及びグラウンド工事に伴い上限人数が制限されます。 教職など資格取得のため履修が必要な学生については早めに登録をして下さい。 「運動をしたい」などの理由で登録をするのは避けてください。 健康・スポーツ科学科目の単位が必要な学生は極力、講義科目にて登録を行って頂くようお願い致します。 スポーツ実技・実習科目履修者は予め動きやすい服装で来るなど感染対策にも留意してください。
憲法ⅠA、民法ⅠA、刑法ⅠB、 異文化コミュニケーションⅠ・ Ⅱ、私法特講A・B、法学特殊講 義（裁判法A・B）、国際政治特 殊講義（インドネシアの言語と 文化）	受講人数を制限します。 WEB履修上での先着順の登録となります。
外国書講読(法律)・(政治)A・B	(法律)と(政治)の両方履修登録できる。

※その他の科目についても、WEBシラバスで履修条件を必ず確認すること。

>>受講人数を制限する科目について（基礎教育科目）

下記科目については、WEB履修上での先着順の登録になります。

講義名称	履修上の注意事項
基礎教育科目講座（国語）	履修上限：76名
基礎教育科目講座（数学）	履修上限：63名
人間関係トレーニング入門（a）	履修上限：50名
人間関係トレーニング入門（b）	履修上限：50名
人間関係トレーニング入門（c）	履修上限：50名
人間関係トレーニング入門（d）	履修上限：50名
栄養と健康	履修上限：100名
データサイエンス概論	履修上限：145名
データサイエンス実践	履修上限：40名
数学Ⅰ（数学的思考方を養う）	履修上限：126名
数学Ⅱ（数学的思考方を養う）	履修上限：126名
物理学（a）（その「しくみ」を知ろう）	履修上限：109名
地学Ⅰ（a）（生命の起源・進化・大絶滅と地球）	履修上限：150名
地学Ⅰ（b）（生命の起源・進化・大絶滅と地球）	履修上限：150名
地学Ⅱ（a）（変動する地球環境とその影響）	履修上限：150名
地学Ⅱ（b）（変動する地球環境とその影響）	履修上限：150名
生物学（a）（教養としてのライフサイエンス）	履修上限：294名
生物学（b）（教養としてのライフサイエンス）	履修上限：126名
統計学Ⅰ（データにだまされない方法を学ぶ）	履修上限：124名
統計学Ⅱ（データを武器に戦う方法を学ぶ）	履修上限：98名
環境科学Ⅱ（a）（食と農からみた環境）	履修上限：150名
環境科学Ⅱ（b）（食と農からみた環境）	履修上限：150名
論理学Ⅰ（知性の作法）	履修上限：145名
論理学Ⅱ（知性の限界）	履修上限：126名
哲学Ⅰ（a）（主体性の根拠）	履修上限：298名
哲学Ⅰ（b）（主体性の根拠）	履修上限：126名
哲学Ⅱ（東アジアの伝統と現代を学ぶ）	履修上限：210名
日本文学（a）（日本の古典文学史をたどる）	履修上限：210名
日本文学（b）（日本の近代文学史をたどる）	履修上限：252名
西洋文学（a）（19世紀イギリス文学を学ぶ）	履修上限：345名
西洋文学（b）（19世紀イギリス文学を学ぶ）	履修上限：345名
日本史学（a）（歴史学の扉を開こう）	履修上限：260名
日本史学（b）（日本近世史を題材とした歴史学入門）	履修上限：157名
日本史学（c）（近代日本の歴史学の知識）	履修上限：298名
朝鮮史学（朝鮮半島への問題関心を歴史から深める）	履修上限：210名
中国史学（公開処刑・美意識からみる中国の歴史）	履修上限：210名
西洋史学Ⅰ（古代～中世）	履修上限：294名
西洋史学Ⅱ（近世～現代）	履修上限：294名
文化人類学Ⅰ（異文化を知り自文化を知る）	履修上限：200名
文化人類学Ⅱ（異文化を知り自文化を知る）	履修上限：200名
人文地理学Ⅰ（a）（地域と人間との関係について深く追求する）	履修上限：100名
人文地理学Ⅰ（b）（地域と人間との関係について深く追求する）	履修上限：100名
人文地理学Ⅱ（a）（地域と人間との関係について深く追求する）	履修上限：100名
人文地理学Ⅱ（b）（地域と人間との関係について深く追求する）	履修上限：100名
日本の歴史文化（日本や久留米地域の歴史と文化を学ぶ）	履修上限：70名
日本文化論Ⅰ（英語による授業）	履修上限：10名
日本文化論Ⅱ（英語による授業）	履修上限：10名
経済学Ⅰ（ミクロ経済学の基礎理論を学ぶ）	履修上限：210名
経済学Ⅱ（マクロ経済学の基礎理論を学ぶ）	履修上限：210名
社会学Ⅰ（中西）（「私」と「私を取り巻く社会・人間関係」について考える）	履修上限：210名
社会学Ⅱ（中西）（「私」と「私を取り巻く社会・人間関係」について考える）	履修上限：140名
心理学（b）（人間行動の理解）	履修上限：126名
日本の政治経済Ⅱ（戦後の経済的発展はなぜ実現したか）	履修上限：44名
大学とキャリア（a）	1年次のみ履修可。履修上限：145名
大学とキャリア（b）	1年次のみ履修可。履修上限：145名
大学とキャリア（c）	1年次のみ履修可。履修上限：145名
大学とキャリア（d）	1年次のみ履修可。履修上限：298名
大学とキャリア（e）	1年次のみ履修可。履修上限：145名
大学とキャリア（f）	1年次のみ履修可。履修上限：145名
大学とキャリア（g）	1年次のみ履修可。履修上限：109名
社会とキャリア（a）	履修上限：157名
社会とキャリア（b）	履修上限：70名
社会とキャリア（c）	履修上限：157名
仕事とキャリア	2～4年次のみ履修可。 履修条件：大学とキャリア、社会とキャリア、インターンシップ、グローバル・キャリアのいずれかを修得済であること。履修上限：140名

講義名称	履修上の注意事項
キャリア・フィールドワーク	2～3年次のみ履修可。 大学とキャリア、社会とキャリア、インターンシップ、グローバル・キャリアのいずれかを修得済であること。履修登録上限：30名
キャリア・プロジェクト	3年次のみ履修可。 大学とキャリア、社会とキャリア、インターンシップ、グローバル・キャリアのいずれかを修得済であること。履修登録上限：30名
グローバル・キャリア（筑邦銀行・三井住友銀行連携講座）	1～3年次のみ履修可。 Web履修不可。エントリー選考にて受け付け。履修上限：22名
インターンシップ	2～3年次のみ履修可（経済のみ配当年次：2年次） 履修登録上限：20名 細かい指示があるため、シラバスを必ず確認すること。
ディベート（a）	履修上限：50名
ディベート（b）	履修上限：50名
キャリア特講（非言語系 実践編）（a）	履修上限：44名
キャリア特講（非言語系 実践編）（b）	履修上限：70名
キャリア特講（非言語系 実践編）（c）	履修上限：44名
キャリア特講（非言語系 実践編）（d）	履修上限：70名
判断推理（a）	履修上限：210名
判断推理（b）	履修上限：210名
判断推理（c）	履修上限：277名
判断推理（d）	履修上限：631名
数的推理（a）	履修上限：210名
数的推理（b）	履修上限：210名
数的推理（c）	履修上限：70名
数的推理（d）	履修上限：631名
応用判断推理（公務員試験対策）	履修上限：145名
応用数的推理（公務員試験対策）	履修上限：145名
公共特講（経済系）Ⅰ	履修上限：109名
公共特講（経済系）Ⅱ	履修上限：109名
久留米学（文化と社会）	履修上限：277名
久留米・筑後体験演習（a）	ガイダンスに出席、希望届を提出。受講者多数の場合は抽選となる場合があります。学外実習
久留米・筑後体験演習（b）	ガイダンスに出席、希望届を提出。受講者多数の場合は抽選となる場合があります。学外実習
地域体験演習（まちおこしを考える）	履修登録上限30名 学外実習
いのちの倫理（a）	履修上限：210名
いのちの倫理（b）	履修上限：210名
職業の倫理（a）	履修上限：126名
環境の倫理	履修上限：145名
ジャーナリズム論Ⅰ（a）（ニュースを読む）	履修上限：210名
ジャーナリズム論Ⅰ（b）（ニュースを読む）	履修上限：210名
ジャーナリズム論Ⅱ（a）（ニュースを読む）	履修上限：210名
ジャーナリズム論Ⅱ（b）（ニュースを読む）	履修上限：210名
アントレプレナーシップ論Ⅰ（基礎編）	履修上限：70名
アントレプレナーシップ論Ⅱ（応用編）	履修上限：70名 関連科目「アントレプレナーシップ論Ⅰ（基礎編）」を修得済であることを推奨します。
SDGs実践論	履修上限：126名
シティズンシップ・スタディーズ：地域市民の「希望学」	履修上限：126名
シティズンシップ・スタディーズ演習Ⅰ（探索編）	履修上限：63名 「シティズンシップスタディーズ：地域市民の「希望学」」を修得済であることが望まれます。（シティズンシップ・スタディーズ演習Ⅱ（深化編）の同時履修可）
シティズンシップ・スタディーズ演習Ⅱ（深化編）	履修上限：63名 「シティズンシップスタディーズ：地域市民の「希望学」」を修得済であることが望まれます。（シティズンシップ・スタディーズ演習Ⅰ（探索編）の履修は必須ではありません。）